

第 79 回接続料の算定等に関する研究会の議論を踏まえた
株式会社オプテージへの追加質問及び回答
(移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証関係)

問 スタックテストにおいて対象となるMNOのサービス等とMVNOのサービス等における、サービスクオリティ（輻輳状況）の差について、スタックテストにおいて、既に考慮されているという説明に対して、どのように理解していますか。理解が不十分であれば、どのような情報を得ることで、理解が得られると思いますか。

(佐藤構成員)

(オプテージ回答)

- ご質問の主旨である「通信速度や安定性等のサービスクオリティ差」につきまして“移動通信分野における接続料等と利用者料金の関係の検証に関する指針”（以下、本指針）にて示された項目の中では「データ伝送役務に係る接続料相当額」が関連するものと認識しております。
- この点、当該接続料相当額の算出における具体的な計算式として、本指針では「 $\{[\text{設備容量の上限値} \times \text{届出接続料の単価}] / \{ \text{最繁忙時（1時間）のトラヒック量} / \text{最繁忙時集中度} \times 30.4 \text{日} \} \} \times \text{平均使用通信量}$ 」と示されていることから、本算出に用いられる数値自体はMNOサービスの利用実績等を踏まえた内容であり、MVNOサービスと同様の輻輳状況など、「MNOのサービス等とMVNOのサービスにおけるサービスクオリティの差」が考慮されたものではないと認識しております。
- また、仮にスタックテストにおいて「MNOのサービス等とMVNOのサービスにおけるサービスクオリティの差」が考慮されている場合は、その考え方や具体的な内容等を確認・理解するために、例えば「前年度のうち最も通信量の多い1日における最大占有帯域（bps）と設備容量の上限値（bps）との差や比率」や「1回線当たりの割当帯域（設備容量の上限値を総回線数で除した値）」等をお示し頂いた上で、「MVNOサービスにおける輻輳状況等をどのように考慮（費用算出における補正等）したか」について、ご説明頂くことは有効な手段になり得るのではないかと考えております。